

卒業式に向けて 全校体制で全力投球！

卒業式は、6年生の「6年間の集大成の日」です。その集大成の日を、6年生だけががんばっても意味はありません。また、その日だけががんばっても価値はありません。

では、どうしたらよいでしょうか？

何を目指したらよいでしょうか？

6年生は？ 5年生は？ 4年生は？

3年生は？ 2年生は？ 1年生は？

自分は？ 先生方は？ 今日？ 明日？

1月？ 2月？ 3月？ 卒業後は？

◎自分で考えたり、クラスで話し合ったりして、それを実践してくれることを期待します。

(コロナ禍での難しさはあると思いますが…)

<参考>

小野寺南小卒業生 (令和元年度まで) 3039名*

北小卒業生 (") 2243名

小野寺小卒業生 (令和2～3年度) 34名*

(令和4年度) 17名*

つまり、この校舎を3090名が巣立つことになります。(小野寺全部で5333名)

<6年生親子事業>

11月30日(水)授業参観の日の午前中、6年生の親子事業として「コサージュ作り」が行われました。親子で、アイディアを出し合い、協力しながら、世界に1つだけの素敵なコサージュが完成しました。このコサージュを胸に、3月17日(金)6年生が有終の美を飾ります。



旧年中は大変お世話になりました。

本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

さて、今年はうさぎ年です。うさぎは、穏やかで温厚な性質であることから「家内安全」を、また、その跳躍する姿から「飛躍」、「向上」を象徴するものとして親しまれてきました。

そして、今年、癸卯(みずのと・う)といううさぎ年で、「癸」と「卯」の組合せから、これまでの努力が実を結び、勢いよく成長し飛躍するような年になると考えられているそうです。つまりは、何かに挑戦するには最適の年と言えそうです。今年も「やればできる！～自分を信じてチャレンジ～」でいきましょう！

＋「**精神一到何事か成らざらん**」で！！

新年の始まりにあたり、南小と北小の歴史を振り返って見ました。(両校の閉校記念誌から)

南小「小野寺尋常小学校」と称された1894年(明治27年)12月15日を誕生日とすると、2023年(令和5年)年12月15日で、129歳(数えて130歳)

北小大慈寺を仮校舎としていた学び舎が、公立の「第1大学区栃木管内第41番中学区都賀郡第43番小学区公立小野寺小学校」と称された1874年(明治7年)1月20日を誕生日とすると、2023年(令和5年)1月20日で、149歳(数えて150歳) ※小野寺尋常小学北校と称された1892年(明治25年)年4月1日を誕生日とすると、2023年(令和5年)4月1日で131歳(数えて132歳)

「満年齢」「数え年齢」「創立●年目」「創立■周年」「学年でいうと…」と数え方はいろいろありますが、2023年は、南小開校から130年、北小開校から150年、そして、新小野寺小学校になって、丸3年が終わり、4年目が始まるという年です。ちなみに、南小閉校記念誌には「126年間の歴史」、北小閉校記念誌には「146年の歩み」という表現がされています。

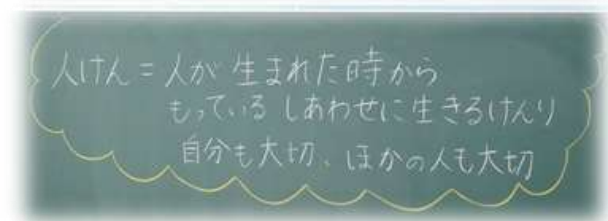
<人権週間>11/28(月)～12/9(金)

1. 目的

- (1) 一人一人の個性を尊重し、互いに認め合う集団づくりに努めることができるようにする。
- (2) 人権感覚を磨き、認め合い、支え合うことによって、楽しい学校生活の実現に努めることができるようにする。

2. 実施内容

- (1) 人権集会 12/7(水)児童会の提案による集会
 - (2) 人権に関する授業(道徳・学活等)の実施
=授業参観 11/30(水)で実施
 - (3) 「なかよく 楽しく 気持ちよく 生活するための12のめあて」の記入と活用
 - (4) 人権に関する作文の朗読(給食時の放送)
 - (5) 人権の木・わたしのいいところの実
 - (6) ふだん思っていることに関するアンケート(自己有用感尺度)の実施
 - (7) 保護者への啓発
- ・「あなたのこんなところがすてきだよ」の記入
 - ・「小さな親切の標語」の掲示
 - ・人権だよりの発行(人権週間後)



これからも、全員が、優しい気持ちをもって、元気に笑顔で生活できるように、考え、実行していきましょう。

そのためには、読書で心を豊かにするのもいいですね！ おすすめは「なんみんってよばないで。」「としょかんライオン」「ねこの看護師ラディ」そして、「ネコの大常識」「はたらく自動車ずかん」「キュウリをつくろう」・・・

つまり、いろいろなジャンルの本を読んでみましょう(^▽^)/

<学校保健委員会> 12/8(木)

1. 内容

- (1) 健康診断結果、保健室来室状況、感染症予防対策等について
- (2) 児童保健・給食委員会による発表
「小野寺っ子の電子メディア利用状況と健康への影響について」
- (3) 意見交換
- (4) 学校医より助言

2. 参加者…亀田歯科医、島田学校医(耳鼻科)、PTA 会長、PTA 生活委員会、保健・給食委員会児童(10名)、校長、保健主事、養護教諭

家庭のルールを守って、ゲームをしたり、SNS を利用しようという話題になりましたが、なかなか難しいという現状があらためて浮き彫りになったようでした。私からは、自分の経験をもとに、視力の低下や目の病気について述べさせていただきました。**(冬休みはどうだったかな?)**



<2011. 3. 11>

始業式の中でも触れましたが、前回のうさぎ年である 2011 年は、東日本大震災の年ということ を忘れてはならないと思います。

12年前ですから、6年生の1～3月生まれの人 が誕生した年。そして、5年生の4～12月生まれ の人が誕生した年ですね。

2011年を表す漢字1字は「糸半」でした。震災直後の楽天イーグルス嶋捕手のスピーチは、私の中では、まだまだ記憶に新しいものです。

「見せましょう。野球の底力を！」

「見せましょう。野球選手の底力を！」

「見せましょう。野球ファンの底力を！」

「共にならぼう東北。支え合おう日本！」

その8年後、私も東北の小中学校を訪ねる機会を得ましたが、子どもたちは、復興と伝統の継承のために、文字通り、支え合って力強く生きている印象を受けました。

今年も、日本中が3・11の教訓を胸に、力強く暮らしていく年になるでしょう。6年生にとっては新しい旅立ちの年、5年生にとっては今日から6年生の0学期がスタート。

「底力」「絆」 新うさぎ年2023もがんばろう！